

## <604> 他教科との違いから技術分野で扱う「問題解決」のコツとは？

技術分野で扱う「問題解決」の特徴は、身近な生活や社会にある、「もっと便利にしたい」「いつの季節でも食べたい」「より早く移動したい」「自動で動かしたい」といった課題を対象としている点にあります。このような、生活や社会の中の具体的な課題を解決していくことが、技術分野における「問題解決」です。

一方、他教科においては、各教科内の内容が「問題解決」の対象となっています。

次の資料に示した、技術分野と他教科との「問題解決」の特徴の違いから、「問題解決」の学習指導のコツを掴んでみてはいかがでしょうか？

資料：技術分野と他教科と比較した問題解決の特徴

	技術分野の問題解決	他教科（除く芸術）の問題解決
問題の発見と課題の設定	身近な生活や社会にある問題解決	各教科内の学習内容に関する問題解決
扱う問題解決の内容	「内容A～Dの技術」の生活や社会にある内容の問題解決	各教科のねらいに沿った、教科内の学習内容の問題解決
扱う手段（方法）	「内容A～Dの技術」の技術的な手段で問題解決	各教科内の言語・考察・表現・分析などの教科内容に関わる手段（方法）で問題解決
解決結果	具体物を生み出して問題解決した結果は、唯一解でなく、複数解である	解決する方法は、多岐であるが、問題解決した結果は、ほとんどが唯一解である。
解決結果の成果物	問題解決して完成した成果物が生活や社会で実際に活用できる作品である。	教科内の課題を問題解決した学習成果の記載内容や表現物である。